

平成26年度くまもとICTコンテスト結果発表

～ICTをフル活用！子どもたちのアイデアや発想が光る～

熊本県内の子どもたちのICT（情報通信技術）に対する興味・関心を引出し、ICTの活用能力を高めながら柔軟な想像力をはぐくみ、情報化による開かれた学校づくりを推進することを目的とし、「くまもとICTコンテスト」を開催しました。

今年度で13回目のコンテストとなり、県内の各学校から1,600点を超える応募をいただき、審査の結果、103点の優秀な作品が選ばれ、2月17日（火）にスペシャルゲストにくまモンを招き表彰式を行いました。その中から、特に優秀であった作品を今回紹介します。



1 ICT活用部門（マルチメディア部門）

①最優秀賞 錦町立一武小学校 5年1組の仲間たちさん タイトル『「いのち」を見つめた1年間』

【内容】農業指導員さんの講話で、アイガモはアイガモ農法をするために、人間の手で作られ、役目がすんだら人間の手でさばかれる生き物と知りました。とても驚くと同時に、すごく悪いことをしているように思えました。田植え、稲刈りも自分たちの手で行いました。腰が痛くてつらい



作業でしたが、苗や稲穂をみていると、なんだかうれしい気持ちになりました。その後、飲食関係・獣医・酪農家の方から、いのちに関する講話を聞きました。私たちが食べている食事は、すべて、たくさんの命が犠牲になってくれていることを、教えてくださいました。12月、みんなで相談して、実際に自分たちでアイガモをさばき、いただきました。さばく途中、だんだん消えていくアイガモの命を見て、涙が出ました。この活動を通して、私たちは、多くの生き物によって「生かされている」ことを知りました。「いただきます」の、本当の意味も理解することができ、命の大切さを学びました。

②最優秀賞 水俣市立水俣第一中学校 環境ビデオ班①さん タイトル『魔女っ娘まりあの一中探検』

【内容】この動画は、文化祭用に作製しました。このコンセプトは、一中の特徴であるエコ改修された校舎を知ってもらいたい、そして、エコについて考えてもらいたいなどです。動画作成は、絵コンテ作製、撮影、ナレーション、BGM、動画編集等、全て自分たちで行いました。

参考ビデオを探していると、ストップモーションという写真をつなぎ合わせて、動画を作る手法を知り、私たちもこの手法で作製しようと決めました。

動画の内容は、オープニング、OMソーラー、エコデッキ、木材の再利用、エンディングと5つしかできませんでしたが、それぞれの内容を担当者が責任持って仕上げました。ぜひご覧ください。



③最優秀賞 県立八代工業高等学校 情報技術科さん タイトル『ウサギとカメ』

【内容】課題研究の時間を利用して生徒5人、担当教師1人で作製しました。教材はAdobe Flashソフトウェアを使用しました。このソフトウェアは、パラパラ漫画の要領で1コマ1コマ制作し、完成したときには約1800枚にもなりました。また、音声も1コマ1コマ入れとても大変な作業でしたが、無事に完成することができました。題材をうさぎとかめの物語にした理由は、昨今のいじめ問題を幼少期から認識してもらいたいという願いから、園児や児童でも知って



いるものに決まりました。本来の物語は、うさぎとかめがか
けっこをしてうさぎが寝ているときにかめが追い抜きゴール
する物語ですが、本作品はその後の話を制作しました。うさ
ぎが、かめはズルをして勝ったと嘘を言って、かめをいじめ
るのですが、最終的にはみんなの誤解が解けて仲良くなる
という内容になっています。

④最優秀賞兼NEXT熊本賞 県立松橋支援学校 高等部普通科1組さん

タイトル『松支ドキュメンタリープロジェクト～水俣が教えてくれたこと～』

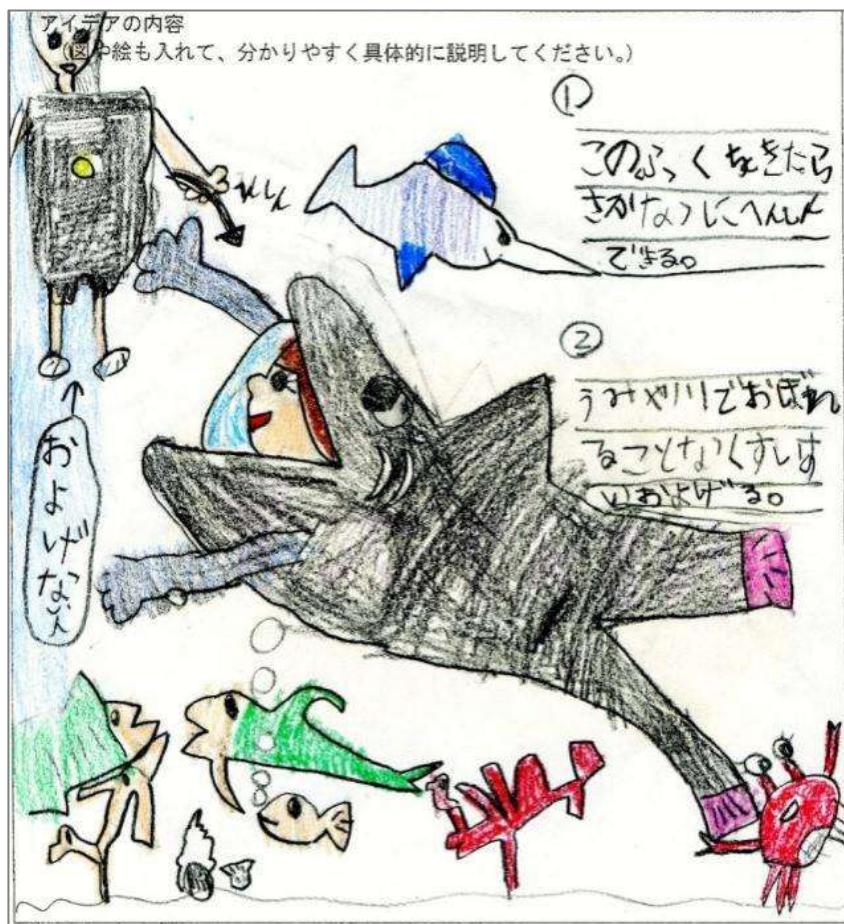
【内容】松橋支援学校高等部普通科1組では、平成25年度より総合的な学習の時間を使い、水俣について学習をしてきました。「水俣と社会班」「水俣と環境班」「人と人とのつながり班」の3班に分かれ、調べ学習を行いました。また、語り部さんをお招きしての学習会、八代白百合学園高校のみなさんと水俣について共同学習を行いました。また、文化祭ではポスターセッションを行いました。今回の映像では、その学習を約20分でまとめられています。どのようにすれば幅広い年代の方に分かりやすく見ていただけるかを考え、有名なアニメなどを取り入れた映像劇も織り交ぜました。2年間の取り組みを約20分にまとめる作業はとても大変でしたが、どうしたら人に上手く伝わるか、どのような情報機器を利用したら効率的に作業できるかなど様々な事を学ぶことができました。これからもICTを正しく活用し、社会に貢献していきたいです。



2 NEXT夢コンテスト

NEXT大賞

人吉市立西瀬小学校1年 岩崎さん タイトル『おさかなスーツ』



3 最後に

今回の提出された作品は、子どもたちの心に残った体験や、いじめの防止に関する啓発に取り組んだ作品、実現できそうな気がする夢のアイデアなど、子どもたち一人ひとりが世界を変えていこうとする姿が見て取れる大変素晴らしいコンテストでした。

来年度もこのように素晴らしい作品の作成を、是非皆さんの学校で取り組んで頂き、多数の応募をお待ちしております。

平成27年度の日程

- 応募要項発送 5月～
- 募集 9月～11月
- 表彰式 2月